

マンションコミュニティ研究会

やる気を引き出す理事会活性化の秘訣

～コロナ時代のコミュニティ活動～



CRファクトリー
Community & Relationship

年 月 日
氏名:

【コロナ時代に起きていること】

リアルイベントやミーティングができない

新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中は3密（密閉・密集・密接）を避けなければならない状況となり、**イベント・場づくり・交流**などを主活動とする多くの市民活動・コミュニティ活動にとっては、ものすごくやりづらい状況となりました。



NPO法人CRファクトリー

コロナ時代に起きていること

- ①リアルな**イベント**が開催しづらくなった
- ②リアルな**ミーティング**がやりにくくなった
- ③高齢者の感染に気をつける必要がある
- ④リアルな場をつくることへの**認識の差**
- ⑤**IT・オンライン**の得意・苦手の差



NPO法人CRファクトリー

15

【オンライン時代に起きていること】

オンライン時代に起きていること

私たちの緊急調査アンケートで以下の項目が浮かび上がった

- 日常会話・普段のなにげない雑談が減っている
- 対話・議論・ディスカッションが深まらない
- 関わりの差が生まれている

(CRファクトリー緊急アンケート調査より)

普段、無意識に獲得し合っていた非言語の情報が減ったことによって、前提にズレが生じたり、相手の意図・考えが理解しづらくなる。

それが仕事の成果や進め方に悪影響を及ぼしはじめる。人間関係がギクシャクしたり、ストレスを感じる場面も。雑談やランチで得ていた「気晴らし」「ぬくもり」も減る。

ワークショップから聞こえてきた声

オンラインへの拒絶感や格差があるので、対面だけでも、オンラインだけでもできない。

認識の差がある。「集まればいいんだよ」という人と、「集まるのはこわい」という人と。

まちづくり活動のグループには「どう続ける?」「やめようか?」という声が出始めている。

イベントのメインは交流や雑談だと思っているが、それがオンラインだとかなり難しい。

悩みが言いづらい環境になっている。悩みや不満が見えなくてつかみづらくなっている。

モチベーションや帰属意識が低下している。

【オンライン時代のポイント】

オンライン時代に大切なこと

オンライン時代は「今まで自然と無意識に共有・担保されていたもの」に目を向けて、それを意図的につくることが重要

1.前提・背景のすり合わせ

その人が考えていることや疑問・違和感を感じていること。
今どんな気持ちで、仕事以外のことはどんな状況なのか。

2.関係性をあたためること

忙しく孤立しやすい構造のリモートワーク時代には、
支えとやすらぎの人間関係が重要になる。成果・スピード
と良い関係性・ケアのバランスを取ることがマネジメント。

3.気持ち・弱さを共有する

その人の気持ち・感情を共有できるチーム。
「人間性を仕事に呼び込む」「心理的安全性」

オンライン時代のキーポイント

■少人数・1対1・個別

Zoomなどのオンラインツールは大人数でのコミュニケーションに向いていない。少人数をいかにつくるかが鍵。
少人数や個別で「温度」や「関係性」をあたためていく。

■短い時間で頻度高く

移動しなくて済むオンラインミーティングは、隙間時間や短い時間での実施がやりやすい。30分や45分や1時間の短めのミーティングや面談を「頻度高く」やるのが良い。

■オンライン化支援・ITツールの手ほどき

通信環境 (WiFi) と端末 (パソコン・タブレット・スマホ) の整備支援を進めると共に、ITツールへの抵抗感がある方への「個別でリアルな手ほどき」がポイントになる。

【オンライン化をどう進めるか】

オンライン化をどう進めるか

オンラインでのコミュニケーションやケアや会合ができる環境づくり。オンラインでもつながれるための仕掛けづくり。

- ①WiFi・タブレットなどオンライン環境の整備
- ②オンラインでのミーティング・面談実施
- ③オンラインでのイベント・場づくり開催



【リアルな場をどうつくるか】

リアルな場をどうつくるか

感染対策を徹底した上で、信頼感・安心感のあるリアルな場づくりをどこまでできるか。工夫してリアルもつくりたい。

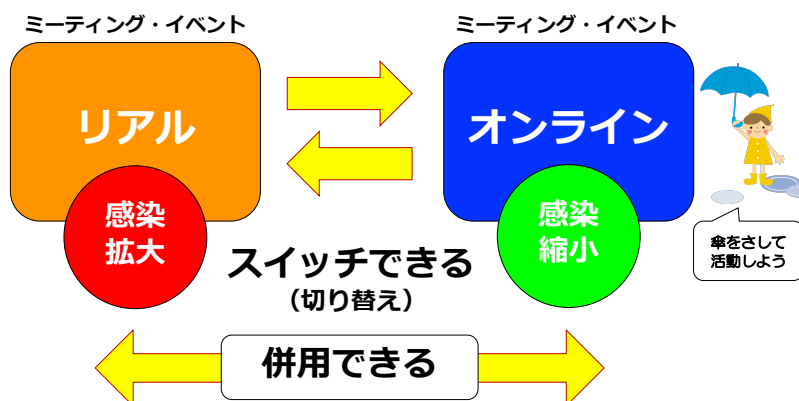
- 換気 ■消毒液 ■マスク着用 ■検温
- フェイスシールド ■マウスシールド
- アクリルパーテーション ■参加者名簿



【「リアル」と「オンライン」のハイブリッド（併用）運営】

これからはハイブリッド（併用）運営

Withコロナ時代は「リアル」と「オンライン」の両方を併用する「**ハイブリッド運営**」を目指す。



コロナ時代の市民活動・コミュニティ活動

1. かたちを変えても続けること（進化する）

情熱・想い・心のエネルギーがあれば、今も活動は続いているし、これからも活動は続く。柔軟・進化の姿勢。

2. 自分たちの根本を見つめ直す

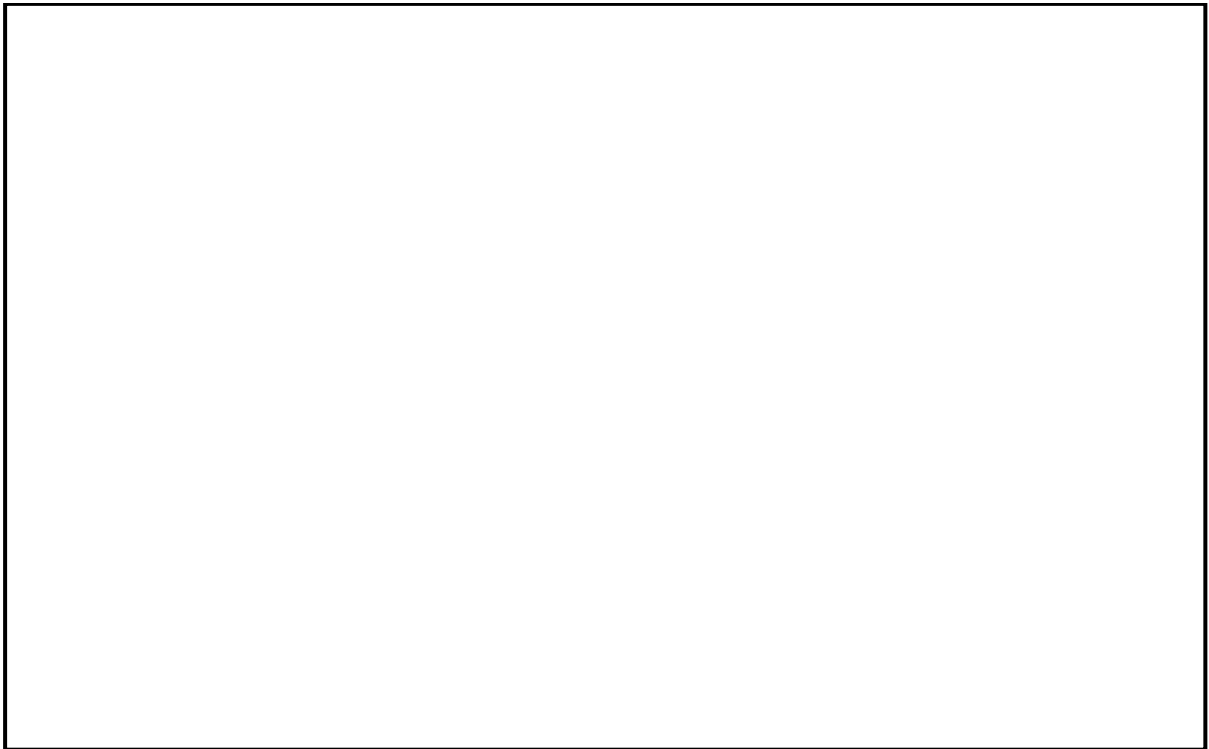
形が変わっても残る「自分たちの使命・価値は何か？」。問題意識、社会的役割、強み、願い、など、そこが深くわかれば、いくらでもやり方は見つけていけるはず。

3. 中長期的な視野に立つこと

今は不安と混乱の最中。2年後にはAfterコロナがやってきて、ミーティングもイベントも懇親会もできる。人間と社会にとっての「コミュニティ」と「つながり」の重要性は変わらない。それを創り出せる市民活動・コミュニティ活動には価値がある。がんばろう。

ワーク

「コロナ状況下における活動の「現状・悩み・課題」についてみなさんで共有してみましょう。



【グループワークメモ】



【コミュニティマネジメントの基本原則】

サービスではなくて「コミュニティ」

- 誰か（リーダー）が一生懸命がんばればがんばるほど「サービス」になる
- 運営側もお客さんとして楽しみ、お客さん側も運営を手伝う。そうやって「主体」と「客体」が**主客交代・主客融合**するのが「コミュニティ」



舞台と役割・出番をコーディネートする

- 多くの人活躍できる**舞台**（=組織）をつくる
- リーダーは**コーディネーター**（世話人、調整役）
（リーダーが脚本・監督・主演など全部やってはいけない）
- それぞれのメンバーはお客さんではなく、舞台を一緒につくるキャストとして**役割・出番**をつくる



【コミュニティマネジメントの基本原則】

人はコストをかけた分だけ愛着がわく

- 人は大切な時間を費やしたもののほど愛着がわきやすいもの
- 費やす時間**や**かかる苦勞**も愛着やコミットメントの材料・要因になる
- メンバーに時間を使ってもらい、苦勞してもらい
(ただし、バーンアウト(燃え尽きる)しない程度に・笑)
一人で抱えず、**共に時間を使い、共に苦勞する**



お金以外の報酬に着目する

- ボランティア人材は金銭的報酬を得ないことが多いがゆえに「**お金以外の報酬**」が重要になる
- 「成長」「出逢い」「居場所」「仲間」「やりがい」など、**メンバーが関わる理由**に着目しましょう
- そして、みんなが関わりたい・関わって良かったと思えるような「**お金以外の報酬があふれる組織**」を目指しましょう



【コミュニティマネジメントの基本原則】

自動的に運営される仕組みをつくる

- スタッフが熱く燃えられるのはイベント3回ぐらいまで（笑）
- みんな忙しく時間が少ない中で、毎回時間をかけて熱心に運営するのには限界がある（毎回事務に忙殺されるのはやめましょう）
- 逐一人がパワーをかけなくても**動いていく仕組み**をつくりましょう
※具体的には「年間計画」「テンプレート」「業務マニュアル」「各種フォーマット」等



【マンションコミュニティの実践事例】



【マンションコミュニティの実践事例】

自治会レポリューション!

～人はコストを費やした分だけ愛着が湧く～

コスト
時間・汗・苦勞

愛着UP
自分の街が好きになる

報酬
笑顔・感謝・心地良さ

※自治会レポリューションとは、「コスト→報酬→愛着UP」の実体験を通じて「街へ貢献することの心地良さ」を住民の皆さんに提供しながら、住民の手で街を活気づかせる、襷子ブリア自治会独自のタウンマネジメント手法です。

「いつだってごきげんな自治会とリーダーになろう」 「その先に起こることを語ろう」 思い出と感動を共有しよう

定時総会をコミュニティらしい「ごきげんな会」へ


- 総会資料は、事務書類から読み物へ
- 活動の思い出写真を多用。
- QRコードでスライドショーも。
- 年間イベントは「その先に起こることを説明。
- 住民から寄せられた喜びの声を全文掲載。
- 役員の多様な関わり方を紹介。
- 「自治会レポリューション」を住民に初披露!

結局、総会はStay homeでできなかったけど…
 <住民の声>
 ・ 総会資料、楽しすぎ!
 ・ はじめて総会資料を最後まで全部読みました!
 ・ 今年引っ越してきました。素敵なブリアア気に入っています。

いつだって その先にごきげんな
IsogoBrilliaJichikai
 第3期通常総会議案書

IsogoBrilliaJichikai
 Since 2013

【マンションコミュニティの実践事例】



これって自治会レポリューション？

ラジオ体操はコロナ禍なのに、参加人数が昨年より40%UP。のべ898人。住民の興味は確実に、地域イベントに回帰している。


貴重なリアル活動「防犯パトロール」では会話が例年以上に弾み、役員はオンラインだけでなくリアルの活動に餓えている様子。新役員には歓迎会がいつまでも開けていない。

リアルで会ったことは1回しかなくて、巻き込みや愛着UPが遅れてる。

これで自治会レポリューション※は実践できていると言えるのか？

※自治会レポリューションとは、「コスト→報酬→愛着UP」の実体験を通じて「街へ貢献することの心地良さ」を住民の皆さんに提供しながら、住民の手で街を活気づかせる、種子ブリア自治会独自のタウンマネジメント手法です。

Isogo Brilliant Jichikai
Since 2013



こんなことがありました

～緊急事態宣言解除後～

夏祭りの代わりに、秋祭りやしましょうよ！ガイドラインに沿った感染対策して。僕が実行委員長やりますよ！

いいですね！やしましょう！

～第2派発生～

秋祭りでクラスターが発生したら、自治会の責任だ！秋祭りはやるべきじゃない！

.....

みんなで決めたバリュー「仲間と楽しい思い出作り」が達成できないなら、考え直したら？全部オンラインでTV放送みたいにならったら？

いいですね！僕が実行委員長やりますよ！

面白そう！やしましょう！おれ、ネットとウェブカメラの準備しますよ。わたし、テレビのコンテンツ考えてみるね。

若手/バウ役員

全役員

年配役員

自治会長

メンバーのイニシアチブを支援しよう
「いつだってごきげん」な自治会とリーダーになろう

Isogo Brilliant Jichikai
Since 2013

【マンションコミュニティの実践事例】



Youは何しにブリリアへ？
マンションで働く人の紹介。子供向けオンライン マルエツ見学。

ブリリアの果てまでイッテQ
住民が見たことないマンション裏側の防災設備等を大公開。

出沒！アド街ック ブリリア
マンション近隣飲食店から生レポート。

自治会長の知らない世界
住民のペット、趣味、お家の自慢。

丘の上ミュージックステーション
住民サークルによる演奏・ダンスの発表会。

ディスタンスを超えて
ブリリアがひとつになる
Jichikai TV
12月19日(土)
毎月4時30分まで
Zoomで生配信！

IsogoBrilliaJichikai

「いつだってごきげん」な
自治会とリーダーになろう

「その先」に起こることを
録ろう

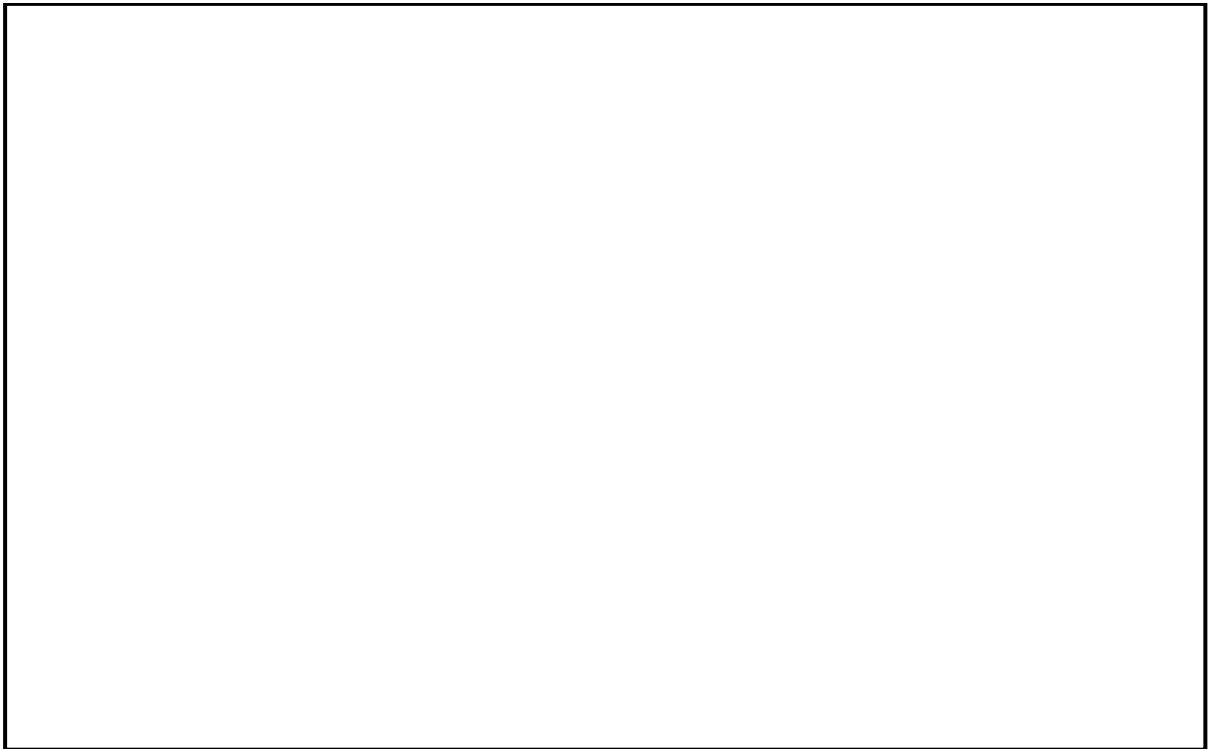
メンバーのイニシアチブを
支援しよう

思い出と感動を共有しよ
う

IsogoBrilliaJichikai
Since 2013

ワーク

本日の学び・気づきについてふりかえってみてください。



【グループワークメモ】

